

ヨブ記結晶の学び#7:旧約において神が人と共に、人の間で行動することに関する、また新約において神が人の中で行動することに関する、神の心の願いを成就し、神の御前で人の必要を満たす内在的で神聖な啓示

3/15-21 **OL Summary:** **I.** 旧約において、神は人と共に、人の間で行動しました。神が人と共に、人の間で行動したのは、キリストと召会のために神の永遠のエコノミーを遂行する直接的な行動ではなく、彼の旧創造における間接的な行動であって、それは彼の新創造における永遠のエコノミーのための直接の行動を準備するためでした:

A. 神によって神のかたちに創造された人は、神(命の木によって象徴される)を命として取り、神を生き、神を表現し、神を代行する必要がありました。またそのような人は造り変えられて尊い材料となり、神の配偶者として建造される必要がありました。**B.** 堕落した人は、彼の贖いのためにキリストを受け入れ(犠牲とその流された血によって予表される)、キリストにある神によって義とされる必要がありました(犠牲の皮の衣によって予表される)。堕落した人はまた、女の子孫としてのキリストを受け入れて、サタン、すなわち「蛇」の死の力から救い出される必要がありました。**C.** 神は全焼のささげ物のゆえに人に目をとめ、人を喜んで受け入れました。キリストは全焼のささげ物の実際として、絶対的に神のためであり神を満足させる生活をし、神に対する満足させるかおりとして神を喜ばせ、歓喜させました。**D.** 神はアブラハムに、彼の子孫(キリスト)の中で、地のすべての諸国民が祝福されると約束しました。**E.** 神によって選ばれた人は、神の召しを受け、召しに応じて、全焼のささげ物としてのキリストを通して神の御前で生き、律法によって暴露される必要がありました。それによって人は自分が罪深く、律法を守る能力がないことを知り、キリストを幕屋、祭司、ささげ物として取ることによって神と共に生き、神の中へと入って、キリストと共に、キリストの中で、神であるすべてを享受します。**F.** ヨブの遊牧生活の方法と、彼が自分の子供たちのために全焼のささげ物をささげた方法によれば、ヨブと彼の友はおそらくアブラハムの時代に生きていたようです。その時、モーセ五書と律法はまだ書かれていませんでした:『確かにヨブと彼の友は、いくらかの啓示を、彼らの父祖たちから口伝えで受けていました。しかしながら、彼らが父祖たちから受けたものは、せいぜい、アブラハムの時代における啓示の水準に達していたにすぎませんでした/ですから、神と人の関係に関する彼らの弁論には、神の裁きと、神が全焼のささげ物のゆえに人に目をとめること以上の、神聖な啓示を受けたことを示す暗示はないのです/神はヨブに現れたとき、ヨブにこう言っていたかのようです、「ヨブよ、あなたは実は、私がだれであるかわかっていない。あなたは私が無限であることを認識していない。また、あなたは、私があなたに与えようとしているものを想像することができない。ヨブよ、私はあなたに私自身を与え、私自身をあなたの享受として、あなたが私の一部分になることができるようにしようとしている。私はあなたが自分の高潔さ、完全さ、正しさを持つことに満足していない。私はあなたに私を得てもらいたい。私の意図は、私自身をあなたの中へと分け与え、ほかでもなく私自身をあなたに与えることである」/こういうわけで、神の選ばれ贖われた人は、ヨブが行なったように、完全さ、正しさ、高潔さなどの人性の美德の中で自分自身を建て上げる必要はなく、慕いあえぐ鹿のように神を追い求め、神の祭りで神の民と共に神を享受する必要があります。それは、神が人のすべてとなり、人が到達し獲得したすべてと置き換わることができるためです。これが、ヨブの三人の友への答え、さらにはエリフとヨブへの答えであるはずですが。**II.** 新約において、人の中の神の行動は、神の御前で人の必要を満たします。人の中の神の行動は、キリストが一度目に来ることから、新天新地の新エルサレムが現されることまでです。この行動は人類歴史においてかつてなかったものです:**A.** 神によって選ばれ召された者として、人はイエス・キリストの中へと信じる必要があります。彼は肉体と成った神であり、彼らのために、彼らと共に人の生活をし、死んで復活し、昇天しました。また彼は命を与える霊と成って、彼らに対して霊なるキリストと成り、彼らの救い、命、すべてとなりました/『彼は死、復活、昇天において、彼のすべての信者を彼と一にしました。こうして、彼の死、復活、昇天はすべて彼らのものとなり、彼の経験は彼らの歴史となりました。**B.** キリストにある信者として、人はキリストの神聖な命において成長し、命を分与する霊を通してキリストであるものに造り変えられる必要があります。それによって人は聖徒たちと共に建造され、キリストのからだ、すなわちキリストの中で三一の神を表現する有機体、また神の新創造としての新しい人となって、神の永遠のエコノミーを完成し、新エルサレムを究極的に完成します。それは手順を経た三一の神と、栄光化された三部分から成る人とのミングリングであり、永遠における団体の神・人の出現となります/神はキリストの中で私たちを贖い、私たちの罪を赦し、私たちを洗い、私たちを義とし、私たちを彼に和解させました。神は私たちをキリストの中へと入れ、キリストを私たちの義と聖別と贖いとしました/神はキリストの復活を通して私たちを再生しました。今や彼は私たちを更新し、私たちを造り変え、私たちを彼の栄光のかたちへと同形化します/神は更新と造り変えにおいて、私たちを消耗させ、彼の苦難の交わりのために、私たちを彼の死の中へと入れます。その苦難は、私たちのために永遠の重い栄光をもたらします。それは、私たちが彼の復活の中で彼を経験し、彼の計り知れない豊富の中で彼を獲得するためです/父なる神は子なる神の中に具体化されており、子なる神は霊なる神として実際化されており、霊なる神は来て私たちに内住し、三一の神の実際となります。父、主、霊は、三一の神であり、キリストのからだとしての召会の源、要素、本質となっています/神はキリストにあって、私たちの中で彼の造り変える働きを完成し、ついには彼の造り変えは、新エルサレムにおいて究極的に完成します。新エルサレムはまず、千年王国における勝利者と共にあります。そして究極的には、新天新地におけるすべての聖徒たちと共にあって、彼の選ばれ贖われたすべての人を彼の団体的な表現とならせ、永遠において最も満ち満ちた程度にまでご自身を現します。それはヨブが現したような、いかなる種類の単なる人性の美德でもありません。

CP1: 霊を活用し、思いを霊に付けて、“In Christ”のスイッチをオンにし、キリストからの豊かな供給を受ける

OL1:旧約において、神は人と共に、人の間で行動しました。神が人と共に、人の間で行動したのは、キリストと召会のために神の永遠のエコノミーを遂行する直接的な行動ではなく、彼の旧創造における間接的な行動であって、それは彼の新創造における永遠のエコノミーのための直接の行動を準備するためでした。

Ⅱコリント5:17 ですから、だれでもキリストの中にあるなら、その人は新創造です。古いものは過ぎ去りました。見よ、それらは新しくなりました。**ガラテヤ6:15** 割礼も無割礼も重要ではありません。重要なのはただ新創造です。

肉体と成ることから始まって、神はおもに人の中で行動されました。新約で神が行なわれたことはおもに、人の中ででした。「の中」という小さな前置詞は、新約聖書において最も大きな言葉と考えられます。もしあなたがこの前置詞を取り去るなら、新約聖書は空虚なものになるでしょう。これは、電気器具からスイッチを取り去るようなものです。スイッチがなければ、それは作動しません。なぜなら、電気がその中へと流れ込むことができないからです。「キリストの中で」という句は、新約聖書でしばしば繰り返されています。もし私たちがキリストの中におらず、キリストが私たちの中におられないとしたら、クリスチャン生活や召会生活はないでしょう。

OL2: 堕落した人は、彼の贖いのためにキリストを受け入れ(犠牲とその流された血によって予表される)、キリストにある神によって義とされる必要がありました(犠牲の皮の衣によって予表される)。堕落した人はまた、女の子孫としてのキリストを受け入れて、サタン、すなわち「蛇」の死の力から救い出される必要がありました。

OL3: 神は全焼のささげ物のゆえに人に目をとめ、人を喜んで受け入れました。キリストは全焼のささげ物の実際として、絶対的に神のためであり神を満足させる生活をし、神に対する満足させるかおりとして神を喜ばせ、歓喜させました。**OL4:** 神はアブラハムに、彼の子孫(キリスト)の中で、地のすべての諸国民が祝福されると約束しました。

OL5: 神によって選ばれた人は、神の召しを受け、召しに応じて、全焼のささげ物としてのキリストを通して神の御前で生き、律法によって暴露される必要がありました。それによって人は自分が罪深く、律法を守る能力がないことを知り、キリストを幕屋、祭司、ささげ物として取ることによって神と共に生き、神の中へと入って、キリストと共に、キリストの中で、神であるすべてを享受します。**創4:4** また、アベルも彼の羊の群れの初子(ういご)から、すなわち、その脂肪の部分からささげ物を持って来た。エホバは、アベルと彼のささげ物に目をとめられた。**22:18** あなたの子孫の中で、地のすべての諸国民は祝福される。あなたが私の声に従ったからである。

私はあなたがたすべてに、若い人たちにさえ、これらの事を学び、それを努めて人に提示することを学ぶようにと励まします。例えば、若い人が若い親族を訪問し、堕落した人がキリストにある神によって義とされる必要について、あるいは女の子孫としてのキリストの必要について語るとします。まず、私たちはこれらすべての真理を自ら消化すべきであり、そしてどのようにそれらを人に提示するかを学ぶべきです。

適用: 新人及び青少年・大学生編

旧約の時代、神は神の選民の間におられました。新約では神が兄弟姉妹の中におられ、彼らも神の中にいて、神と人がミングリングしています。新約の召会が神のエコノミーの中の新創造です。

新約聖書の中で、何度も“**In Christ(キリストの中で)**”という句が出てきます。例えば、**ヨハネ15:5** 私はぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人が私の中に住んでおり、私もその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もすることができないからである。I am the vine; you are the branches. **He who abide in Me and I in him, he bears much fruit; for apart from Me you can do nothing.**

あなたはいつも、“**In Christ**”のスイッチをオンにしてください。枝がブドウの木から離れて何もできないように、このスイッチをオンにしなければ、あなたは何もすることができません。集会の時、あるいは朝毎の復興の時、キリストを他の人に分与するために、あなたは霊を活用し、霊を解放して、思いを霊に付けて、“**In Christ**”のスイッチをオンにして、力強く神の言葉を語り、詩歌を歌ってください。更に、日常生活の勉強、仕事、アルバイト、友人や先生あるいは上司との人間関係で、自分の霊を活用し、思いを霊に付けて、“**In Christ**”のスイッチをオンにしてください。そうすれば、ぶどうの木からの豊かな水分と養分の供給を受けて、すべての事を行うことができます。

朝起きた時や困難に面した時に、“Oh No!(おおノー)”と言わず、“**Oh Lord!(おお主よ)**”と呼び求めてください。朝起きると、まだ寝不足だと考え、“もう朝だ、Oh No!(おおノー)”と言いたくなりますが、思いとどまって、霊に戻り、“**Oh Lord! Oh Lord! Oh Lord Jesus!**”と深呼吸してください。困難に出くわした時も同じです。“Oh No!(おおノー)”は霊的なスイッチ・オフであり、“**Oh Lord!**”は霊的なスイッチ・オンです。あなたが学ばなければならないことは、いつもスイッチ・オンにして、神聖な電流の流れの中に留まり、すべての事を行うことです。“もう朝だ、Oh No!(おおノー)”で一日を開始するのではなく、“**Oh Lord!**”で開始することは大きな違いを生み出します。**ローマ10:12** 彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです。

小学生の兄弟の証: 私は5年生の時にバプテスマされて青少年地区に入ってから、毎朝兄弟たちと主の御名を呼び、御言葉を祈り読みすることを始めました。聖書通読も毎晩続けています。朝毎の復興をするようになってから、学校生活が楽しくなってきました。また6年生になってから算数の問題が難しくなり、友達に教えてもらってもすぐに理解できなかったのですが、今は理解するまでにかかる時間が短くなってきました。朝毎の復興で思いが新鮮になり、造り変えられていると感じています。

祈り: おお主イエスよ、新約の今、主は私の中におり、“**In Christ**”のスイッチをオンにして、私は主の中にいることができます。集会で霊を活用し、霊を開放して、思いを霊に付けて、力強く神の言葉を語り、詩歌を歌って、“**In Christ**”のスイッチをオンにすることを訓練します。日常生活で勉強や仕事をする時も、人間関係で悩むときも、主の名を呼んでスイッチをオンにします。毎朝、“**Oh Lord!**”と主の名を呼んで一日を開始します!

CP2:人の美德である愛は、神の属性である愛で満たされる時、正しく機能して、神を表現することができる

OL1:確かにヨブと彼の友は、いくらかの啓示を、彼らの父祖たちから口伝えで受けていました。しかしながら、彼らが父祖たちから受けたものは、せいぜい、アブラハムの時代における啓示の水準に達していたにすぎませんでした。ですから、神と人の関係に関する彼らの弁論には、神の裁きと、神が全焼のささげ物のゆえに人に目をとめること以上の、神聖な啓示を受けたことを示す暗示はないのです。

OL2:神はヨブに現れたとき、ヨブにこう言っていたかのようです、「ヨブよ、あなたは実は、私いだれであるかわかっていない。あなたは私が無限であることを認識していない。また、あなたは、私があなたに与えようとしているものを想像することができない。ヨブよ、私はあなたに私自身を与え、私自身をあなたの享受として、あなたが私の一部分になることができるようにしようとしている。私はあなたが自分の高潔さ、完全さ、正しさを持つことに満足していない。私はあなたに私を得てもらいたい。私の意図は、私自身をあなたの中へと分け与え、ほかでもなく私自身をあなたに与えることである」。彼らは神聖な啓示の原始の段階にいました。**ヨブ1:5** こうして、宴席の日が一巡するごとに、ヨブは...朝早く起き、彼らすべての数にしたがって全焼のささげ物をささげた。ヨブは、「あるいは、私の子供たちは罪を犯し、心の中で神をのろったかもしれない」と言ったのである。ヨブはいつもこのように行なった。**10:13** しかし、あなたはこれらの事を、あなたの心に秘めておられました。私は、これがあなたと共にあるのを知っています。

OL3:神の選ばれ贖われた人は、ヨブが行なったように、完全さ、正しさ、高潔さなどの人性の美德の中で自分自身を建て上げる必要はなく、谷川を慕いあえぐ鹿のように神を追い求め、神の祭りで神の民と共に神を享受する必要があります。それは、神が人のすべてとなり、人が到達し獲得したすべてと置き換わることができるためです。これが、ヨブの三人の友への答え、さらにはエリフとヨブへの答えであるはずで**す**。詩**42:1-2** 神よ、鹿が谷川を慕いあえぐように、私の魂はあなたを慕いあえぎます。私の魂は、神に、生ける神に渴きます。いつ、私は行って、神の御前に出るのでしょうか？

適用:ビジネスパーソン・大学院生編

救われた最初の頃、あなたと神の関係は親子関係であったかもしれませんが。しかし、神のエコノミーの中で、神と信者たちで構成された召会の関係は夫婦です。キリストの中の神は夫であり、信者で構成された召会は妻、配偶者の立場です。信者は配偶者になるために、キリストとマッチするために、造り変えられ、主と同じかたちに同形化される必要があります。良い人では、キリストにマッチした配偶者になることができません。**ローマ 8:29** 神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。

主を愛し、谷川を慕う鹿のように主を慕い求め、主を命の宴席として享受する必要があります。そして、自分の霊を活用し、心を主に開き、思いを霊に付けて、神聖な分与を享受する必要があります。

ビジネスパーソンや研究者は、実際的な苦難の環

境下で、「主イエスよ、あなたを愛します。主イエスよ、あなたを愛します。主イエスよ、あなたを愛します」と繰り返して呼んで下さい。このように祈る時、あなたは自分があまり主を愛していないことを照らされるかもしれませんが。しかし、続けて「主イエスよ、あなたを愛します」と叫ぶ時、主の愛に触れて、初めの愛、最上の愛を持って主を愛することができるようになります。主を愛することはあなたが始めたことではなく、主がまずあなたを愛してくださったのです。

1ヨハネ 4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛して、私たちの罪のために、御子をなだめの供え物として遣わされました。ここに愛があるのです。

あなたの美德である愛は、神の属性である愛のかたちに造られました。あなたの愛は神の愛で満たされなければ、正しく機能することができません。このように主を愛する時、神を表現します。

例えば、あなたはビジネスを正しく展開するうえで、予算や人員が足りません。そのような制限の中で、どのように推進したらいいのか分からず、困り果てています。この時にあなたは、「主イエスよ、あなたを愛します」と何度も叫んでください。そうすれば、神の分与を受けることができます。そして、あなたの心の目は徐々に純粋になり、「失敗したらどうしよう」などのサタンの訴えを退けることができます。そして、おおいのない顔を持って、栄光の主を純粋に見つめることができます。決して仕事なので、神の栄光を見てもしょうがないと考えないでください。究極の本質は神ですので、神を見ることができるとは、すべての物事の本質も見ることができるともできます。**詩歌 169:**

- 1 イエスはわがいのち、 なが愛の一ゆえ、
ひと日に一せんかい、 御名をさ一けばん。
(復) イエス、さい愛の主にくらぶるものなし;
なれのえがお見て、 われよろ一こばん。
O Jesus, Lord, with me abide; I rest in Thee, whate'er betide;
Thy gracious smile is my reward; I love, I love Thee, Lord!
- 2 いかにな愛すべきか、 われ知ら一ねど、
火のごと一きあいほ ころ燃一やす。
- 3 イエスわがすべてぞ、 依りたの一む主、
ころし一たうもの、 とわのち一から。
- 4 燃えるあいの火は にち夜つ一のり、
他のあい一すべてを 焼き尽く一しぬ。
- 5 わがあいなるイエス、 またわが一うた;
その価値一をだれか 知るを得一んや。
- 6 このあい、なににも 制限を受一けじ;
主のあま一き価値は きのうにま一さる。

詩歌:谷川を慕いあえぐ、鹿のごとくわれも、
ひまわりの日をば恋うごと、とこしえに慕わん。
わが心はたえる日なく、主イエスをば慕いて、
愛は日々さらに深まり、なが胸に憩わん。

祈り:主イエスよ、神はキリストの花嫁を用意するために、ご自身を私に分与し、ご自身にふさわしい者にしようとしておられます。「良い人」は神の命がないので、キリストにマッチした配偶者になれません。キリストの花嫁は、谷川を慕う鹿のように主を慕い求め、主を愛する者です。主よ、あなたを愛します。あなたの愛に触れさせてください。私の内側の愛の火を再び燃やしてください。神の愛で満たされて、最上の愛で主を愛します。

CP3:神が受肉、人間生活、死、復活、昇天の手順を経たのは、信者が分与を受けてからだを建造するためである

OL1:新約において、人の中の神の行動は、神の御前で人の必要を満たします。人の中の神の行動は、キリストが一度目に来ることから、新天新地の新エルサレムが現されることへと至ります。この行動は人類歴史においてかつてなかったものです。

OL2(受肉):神は来て人の処女の胎に入り、彼女から生まれて人と成り、こうして神性を人性の中へともらし、神と人はミングリングされて一つの実体となりましたが、第三の実質となったのではありません。**OL3(人間生活):**イエスは生活の中で、すべてのことを神の中で、神と共に、神のために行ないました。神は彼の生活の中におり、彼は神と一でした。彼は人の生活の中で、私たちが彼の足跡をたどり、また踏み従うことによってコピーすることができるように、一つの手本として私たちの前に、彼の苦難の生涯を置かれました。これは単に主と主の生活を模倣することを言っているのではなく、彼の複製を言っており、それは苦難の中で彼を恵みとして享受することから来ます。

OL4(十字架):イエス・キリストは、肉体と成った神であり、三一の神の具体化であって、彼の人性において身代わりのすべてを含む死を遂げて、すべての消極的な事柄を終結させ、彼の内側から神聖な命を解放して、私たちに与えました。**OL5(復活):**彼は死に打ち勝ち、すべてを生み出す復活の中へと入り、神の長子として生まれ(人性を神性の中へともらす)、命を与える霊と成って、キリストのからだを生み出し、構成しました。**OL6(昇天):**彼はすべてを超越する昇天を完成し、天に上り、主、キリスト、元首、救い主とされ、彼を増殖させ、彼の王国としての召会を建造しました。**使13:33** 神は彼を復活させて、子孫である私たちに、この約束を完全に成し遂げられました。それは詩篇第二篇にも、「あなたは私の子である。この日私はあなたを生んだ」と書き記されているとおりです。

OL7(経験):彼は死、復活、昇天において、彼のすべての信者を彼と一にしました。こうして、彼の死、復活、昇天はすべて彼らのものとなり、彼の経験は彼らの歴史となりました。**5:31** この方を、神は元首また救い主としてご自身の右に引き上げ、イスラエルに悔い改めと罪の赦しを与えてくださいました。

OL8(からだ):キリストは、神によって聖徒たちに割り当てられた神聖な分け前として、また信者たちの中の命として、新しい人のすべての肢体となり、また新しい人のすべての肢体の中にいます。その新しい人はキリストの有機的なからだです。神は神の具体化であるキリストを、私たちキリストの信者のすべてとならせることを願っています。**エペソ4:4-6** 一つからだ一つ霊、それはあなたがたも、あなたがたの召しの一つ望みの中で召されたようにです。一つ主、一つ信仰、一つバプテスマ。すべてのものの神また父は一つ、この方はすべての上に、すべてを貫き、すべての中におられるのです。

適用:奉仕者編

神の永遠のエコノミーの直接的な働きは、主イエスの受肉から始まり、彼の人間生活、死、復活、昇天の手順を経て、人の中にご自身を分与することができるようになりしました。この神聖な分与の結果、キリストのからだが生み出され、建造されていきます。信者は召会

生活の中で、この神聖な分与を享受して、栄光から栄光へと徐々に造り変えられていきます。これが新創造における神の永遠のエコノミーの直接的な働きです。

リー兄弟は、エペソ3:16~19を一か月間、祈り読みするように勧めました。これらの節は、神聖な分与の下で、

- ① 力をもって内なる人、再生された霊が增強される
- ② キリストが霊から心に広がり、ホームを造る
- ③ 聖徒たちと共にキリストの広さ長さ高さ深さを経験する
- ④ 知識を超越したキリストの愛を知る
- ⑤ 満たされて神の全豊満に至ることを祈っています。

これらの節を読めば読むほど、祈れば祈るほど、あなたは我を忘れて、神聖な分与を享受し、強められるでしょう。あなたは、「私は奉仕において、弱くなって後退することはできない」と感じるでしょう。

エペソ3:16 どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと增強してくださいますように。**17** またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、**18** 力に満たされて、すべての聖徒たちと共に、その広さ、長さ、高さ、深さが何であるかを会得し、**19** そして、知識を超越したキリストの愛を知ることができるように。また、あなたがたが満たされて、神の全豊満へと至るように。

神のエコノミーの中で神が手順を経たのは、あなたの中にご自身を分与して、キリストのからだを建造し、神を団体的に表現し、神を代行して、サタンと彼の軍隊を支配することです。あなたが霊を活用し、エペソ3:16~19を祈り読みし、神聖な分与の下で、強められ、後退することを拒否し、前進することです。もしあなたが、霊を活用せず、心を主に開かず、御言葉を祈り読みせず、神のエコノミーと神聖な分与を理解しないなら、神の手順、受肉、人間生活、死、復活、昇天、神聖な分与と神聖な伝達は、あなたにとって無駄になってしまいます。そうであれば、神に対して大変申し訳ないことです。主があなたを愛し、あなたのために十字架に付けられたのは、あなたが火の池に行かないためではなく、あなたが神聖な分与を受けて、キリストがあなたの中に生きるためです。**ガラテヤ2:20** 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。そして私は今、肉体の中で生きているその命を、私を愛し、私のためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。

人の中の神の行動、すなわち、ガラテヤ2:20の神・人の生活は、キリストの受肉の前には人類歴史においてかつてなかったものです。あなたは、神の新創造の直接的な行動の時代、神・人、キリストのからだの時代にいます。祈り:おお主イエスよ、主が私を愛し、私のために十字架に付けられたのは、私を火の池から救うことが目的ではなく、ご自身を私に分与し、キリストが私の中に生きて、からだを建造するためです。もし私が、霊を活用せず、心を主に開かず、御言葉を祈り読みせず、神のエコノミーを理解しないなら、神聖な分与と神聖な伝達を無駄にしてしまいます。私は弱いままでいたくありません。神聖な分与の下で、強められ、前進します！